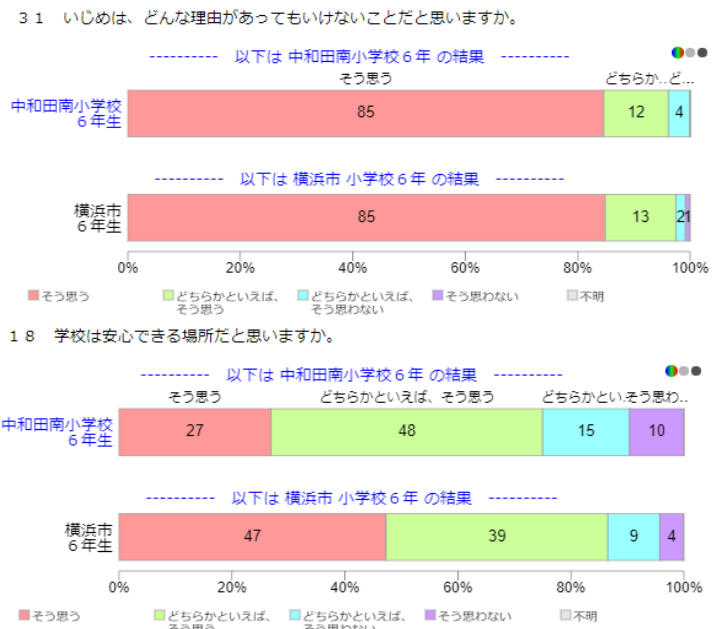


豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心の育成	①縦割り班活動を意図的、計画的に実施し、異学年間交流の充実を図る。特に高学年児童の自尊感情や自己肯定感、リーダーシップの向上を目指す。②地域の人と触れ合う行事や体験活動を意図的、計画的に実施し、まちの人々から学んだり、仲間と協力しあったりする機会を設ける。
担当	縦割り・人権・道徳

豊かな心に関わる本校の状況

(1) 豊かな心に関わる児童生徒の実態
 横浜市学力・学習状況調査の生活意識調査の回答を見ると、いじめに対して「どんな理由があってもいけないもの」という意識が根付いていることが読み取れる。しかし、学校は安心できる場所だという思いをもてない児童が横浜市平均に比べて多い傾向にあり、学校を安心できる場所にしていくための取組が必須となっている。



(2) これまでの学校の取組状況
 昨年度まで、人権週間を設定し、講話による啓発やYPプログラムの活用、人権標語の作成などを実施してきた。また、コロナ禍以前は、外部より講師を招いて人権教室を実施していた。
 縦割り活動「みなみタイム」の時間を設定し、異学年交流を進めてきた。学習場面でも、発表などの場で異学年相手に伝えることで交流を図ってきた。
 道徳学習では、別葉の作成・見直しを行い、系統的な学習が行えるように努めてきた。

今年度の目標

縦割り「ふれあいを通して、友達とのかかわりを大切にし、主体的に取り組む子」の育成
 人権「互いのよさを知り、認め合い、学び合う、助け合える子」の育成
 道徳「生きることを喜び、自他の生命を尊重しようとする子」の育成

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

《縦割り活動での取組》
 ・縦割り活動の前にはめあてを全校で共有し、異学年交流が意図的且つ充実した活動になるように心がける。
 ・高学年児童が縦割り活動を通してリーダーシップの向上できるように、計画や運営の仕方を学べるようにする。活動の頑張りを認め、自尊感情や自己肯定感の向上につなげる。

《人権での取組》
 ・児童のいじめに対する意識が高まるように、児童朝会等の場でいじめ防止に向けた様々な話を専任が行う。
 ・児童個人面談期間を設定し、児童のがんばりやよさを伝え、困り感に気付く一助として、児童理解を図る。

《道徳での取組》
 ・道徳の学習の積み重ねを意識し、振り返りカードの作成・修正を加え、自分の考えの広がり・深まりを自分自身で見つめ直せるようにする。

下半期

《縦割り活動での取組》
 ・縦割り活動の前にはめあてを全校で共有し、異学年交流が意図的且つ充実した活動になるように心がける。
 ・高学年児童が縦割り活動を通してリーダーシップの向上できるように、計画や運営の仕方を学べるようにする。活動の頑張りを認め、自尊感情や自己肯定感の向上につなげる。
 (後期は、6年生から5年生へ引き継げるようにする)

《人権での取組》
 ・児童のいじめに対する意識が高まるように、児童朝会等の場でいじめ防止に向けた様々な話を専任が行う。
 ・横浜プログラムYPアセスメントを実施し、自己肯定感の高まりや他者理解の大切さを気付かせる。

《道徳での取組》
 ・道徳の学習の積み重ねを意識し、振り返りカードの作成・修正を加え、自分の考えの広がり・深まりを自分自身で見つめ直せるようにする。